

名称	農事組合法人 <small>かわねおい</small> 川根美味しいたけ
代表者	代表理事 <small>にしはらむつみ</small> 西原睦実
所在地	川根本町地名
キャッチフレーズ	「快活農業で、地域の農地を次代に引き継ぐ」
<p>経営概要</p> <p>(1) 設立の経緯</p> <p>茶の自園自製農家として就農した西原氏が、地域の仲間とともに荒茶製造を行う「農事組合法人 かわね山処苑」を平成 19 年に、菌床しいたけを生産する「農事組合法人 川根美味しいたけ」を平成 20 年に立ち上げ、地域の雇用創出と新規就農に貢献しています。</p> <p>さらに、平成 30 年に両法人を「川根美味しいたけ」に統合し、茶業と菌床しいたけ生産を有機的に結合し、社員の安定的な周年雇用を実現しています。</p> <p>(2) 経営の特色</p> <p>ア 茶業</p> <p>法人で 14ha の茶園を管理するとともに、組合員等から 11ha 分の茶生葉を受け入れ、受益面積は計 25ha です。南北 30km に渡る広範囲から集荷し、販売先のニーズに合わせ、浅蒸しから深蒸しまでの煎茶、被覆茶、玉緑茶<small>たまりよくちや</small>などを製造しています。茶価の低迷や高齢化で離農する農家が増えるなか、農地中間管理事業を活用した農地集積と基盤整備を積極的に進めています。</p> <p>イ しいたけ</p> <p>林野庁事業を活用して整備した施設で、菌床を生産販売するとともに、しいたけを関東や中京圏の中堅スーパーなどに出荷しています。同法人で研修した「しいたけ新規就農者」7 人との競合を避けるため、彼らが出荷している圏域には販売していません。</p> <p>しいたけの生産量が減少する夏場は、キクラゲの生産販売も行っており、茶を含めた商品は楽天市場のショッピングモール「灯心茶房」でも販売しています。</p> <p>(3) 今後の方向</p> <p>西原氏は就農時「農地は子や孫からの借り物。次世代にきちんと引き渡す」ことの大切さを教わりました。現在、地域の 2 地区で、同法人が中心的な担い手として茶園の基盤整備（区画整理）を進めており、乗用型茶園管理機を駆使して、組織の力で地域農業を維持発展していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: center;">（令和 2 年度全国優良経営体表彰 経営改善部門 農林水産大臣賞）</p>	



菌床培養室